

「漢方薬はなぜ効くのか？」

当科における漢方薬の使用とその理由

～認知症、慢性硬膜下血腫、頭痛に対する効果と理由について～

人口の高齢化に伴い、当科でも漢方薬を処方する機会が増えています。
たとえば、認知症のBPSDやせん妄に対して、抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、
慢性硬膜下血腫や硬膜下水腫に五苓散、片頭痛には呉茱萸湯、天気痛には
五苓散といった具合です。

今回は、実際に経験した症例を提示しつつ、各疾患や病態に漢方薬が
なぜ効くか考察してみたいと思います。

日々の診療の一助になれば幸いです。

奮ってのご参加、なにとぞ宜しくお願いいたします。

講師：岡山中央病院

脳神経外科 医師 平野 一宏

日時：2025年 8月 28日（木）18時30分～19時30分

方法：オンライン（Zoom） ※会場参加も可能です

対象：医師・医療従事者

備考：岡山県医師会生涯教育講座申請中 ※ 9：医療情報

問い合わせ先：岡山中央病院 地域連携室

Tel (086) 252-5002 Fax (086) 252-3929

Eメール：khg-renkei@kohjin.ne.jp

【お申し込み方法】

勉強会参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、岡山中央病院 地域連携室まで
メールかFAX、またはQRコードでお申し込みください。 khg-renkei@kohjin.ne.jp

記載項目：1. 施設名 2. 連絡先 3. 氏名 4. フリガナ

5. 職種 6. 医籍登録番号（医師のみ） 7. メールアドレス

メール、FAXでお申し込みの方には、

後日、Zoom参加のURLをメールにて返信させていただきます。



※申込締切：8月27日(水)